

2018年8月24日
株式会社三菱UFJ銀行

日本学生支援機構が発行する「ソーシャルボンド」への投資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承^{みけ かねつぐ}、以下「当行」）は、このたび独立行政法人日本学生支援機構（理事長 遠藤 勝裕^{えんどう かつひろ}、以下「同機構」）が発行する「ソーシャルボンド（第52回日本学生支援機構債券、以下「本債券」という）」への投資を決定いたしました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことであり、グリーンボンドとともに、ESG投資の対象となります。本債券は、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨、世界的なESG評価機関であるヴィジオアイリス（Vigeo Eiris・フランス）からセカンドオピニオンを取得しており、「ソーシャルボンド」として明確に評価されています。

本債券の発行による調達資金は、同機構が担う奨学金事業の内、貸与奨学金の財源として活用されます。奨学金事業は、日本国憲法第26条や教育基本法第4条に定められる「教育の機会均等」や、国連の持続可能な開発目標（SDGs）の内、目標4「すべての人に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」の達成に資する等、我が国の教育面の課題解決に貢献しております。

当行は、引続き責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成の貢献に努めてまいります。

以上